

『東海北陸都市教育長会に出席』

今年金沢市で総会・研究協議会が開催されました。昨年の伊勢大会では「津島の達人ジュニア検定・選手権の歩み」について事例発表をしました。早一年。「休日の中学校部活動の地域展開」「学校運営協議会」「学校の適正規模による統廃合」などについて協議しました。行政説明では「新しい学習指導要領」の「好きを育み、得意を伸ばす深い学び」「一人ひとりに寄り添う多様性の包摂(インクルージョン)」「教師力を伸ばす授業時間の再点検」についてお話を伺いました。その後で研修として金沢市内の散策を行い、金沢21世紀美術館・金沢城・兼六園などを見学しました。アート作品が街並みに溢れる金沢の町が大好きになって帰ってきました。「余白の美」と言うか、街並みに余裕を感じるつくりとなっていました。

初任者の先生方にお話をする機会を頂きました。教職を続けることの素晴らしさ、続けていると色々なドラマが生まれることを経験から話しました。退職する時に教え子たちが開いてくれた同窓会の話、最近もらった35年ぶりの消息(メール)の話。人が人に出逢うことの素晴らしさを伝えたつもりです。また津島市の魅力について「人」と「祭り」と「食べ物」から話をしました。折角だったので津島名物「柿屋饅頭」をプレゼントしました。褒めて伸ばすことの大切さと共に「叱るときは強く、短く、相手の眼を見て、過去のことでなく今のことを叱るように」してほしいとお願いしました。理不尽な指導を行わないように話しました。初任の皆さんは真剣に聞いて下さいました。

今年もロボットによるプログラミング大会を行います。ロボホンを動かすことの楽しみを実感してほしいと思います。学校では様々な場面でロボットを活用した授業をお願いしたいと思っています。少し次元が異なりますが、月初めに平針で運転免許書の更新に行きました。何に驚いたかという点、手続きがIT化されスマートフォンが必需品となっていたことです。書類も写真もタブレットでした。そういえば昨年中国を訪問した時も、自動販売機の買い物すらすべてがキャッシュレスでした。これからの子どもたちにとってITの活用は日常となっていくと思います。ITから逃げるのではなく、プログラミング大会にも果敢に挑戦してほしいと思います。保護者や地域の皆様にお願ひがあります。子どもたちが自立できるようアドバイスをしてやってください。大人が問題を解決したり、回答を用意したりするのではなく、子どもたちが問題に立ち向かえるような助言をお願いしたいと思っています。

研修へ旅立つ朝や余寒あり

令和8年5月1日
津島市教育委員会 浅井厚視